

事業名称

(仮称) 弥富市まち・ひと・しごと創生推進事業 ～市民による市民のための活躍の場づくり・仕組みづくり～

※ 本事業は、市の人口減少の克服と地域活性化を目的に策定した「第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられた事業になります。

1. 背景

・弥富市は、名古屋駅から交通の便がよく、名古屋市のベッドタウンとして人口が流入してきていたが、全国的な人口減少により人口増加率は横ばいとなっており、人口動向の特徴としては、男性、女性ともに20代は就職をきっかけとした転入超過になっているものの、子育て世代の30、40代では、結婚、出産、居を構えるなどをきっかけとして大きく転出超過となっている。

2. 課題

- ・子育て世代が転出超過となっている要因として、安全・安心と感じる暮らしやすさが十分に確保できていないことや、まちの魅力、賑わいなどが不足しており、安心感や賑わいを醸成するような市民同士が気軽につながり深められる場がないことが考えられる。第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定時に実施した市民アンケートやワークショップにおいても、多様な主体が交流できる場を通して、互いに理解し合い、協力し合える関係を作ることが必要との意見があった。
- ・一方、まちづくりに何かしらの形で関わりたいという市民が潜在的に存在することも把握できた。
- ・今後、様々な資源制約に直面する一方、市民ニーズや地域の課題は多様化・複雑化していくことが想定される。
- ・市民が快適で安全・安心な暮らしを営んでいけるような地域を形成していくためには、多様な主体が連携・協力できるようなネットワークを構築し、それぞれの強みが活かされ、弱みが補われるようなまちづくりの仕組みを作っていく必要がある。
- ・このような状況のなか、弥富市にとって今一番必要な施策は何かについてプロジェクト会議を通して、市民と一緒に考え、実現させていくこととした。

3. 将来像

・個人、団体に限らず、多様な主体の交流や、あらゆる情報や資源の共有を市民との協働により促進することで「つながり」、「ささえあい」、「にぎわい」が生まれるとともに、真に快適で安全・安心な暮らしを実現する。

4. 具体的な取組

・「(仮称) α拠点」として設置し、市内の本取組みに賛同する団体等が活動する場を「(仮称) β拠点」として認定していく。

(1) α拠点の設置・運用

- ・α拠点は当面は市が事務局を担い、地域資源バンクの運営を行いつつ、β拠点の開設や活動を支援する。
- ・主にβ拠点の紹介やニーズ別の案内を行うことなど、β拠点同士をつなぐハブとしての機能を持ち、統括的な役割を担う。

(2) β拠点の認定制度の設計・運用

- ・β拠点は認定制度を設け、各々個性や得意な分野を活かして活動をしてもらう。
- ・α拠点とβ拠点は相互に連携し合うことで、多様な主体の「つながり」や「ささえあい」を促すとともに、「にぎわい」を創出し、この仕組みを弥富市の市民協働によるまちづくりの基盤とする。

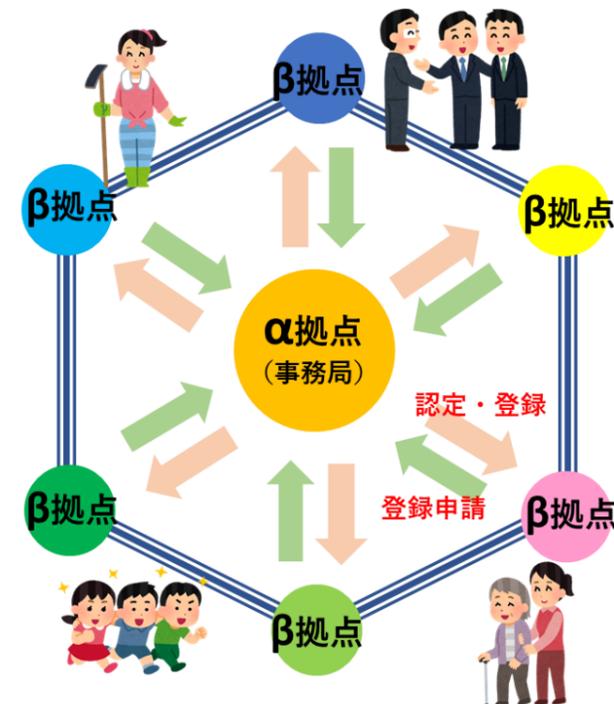
(3) 地域資源バンクの構築

- ・市内の様々な資源(ヒト・モノ・場所)のマッチングを可能とするため、地域資源バンクを構築し、人的資源の情報の見える化を図る。

- ・財源としては、拠点の整備費、人件費相当額、物品印刷費などについて3年間は地方創生交付金と市一般財源により賄うが、3年後の自走にむけて、民間企業からの協賛と、個人のクラウドファンディング(寄附)、情報発信のページによる広告料収入や、利用者からの登録料(利用料)などにより経営を固めていく。

※ 市が計画した達成すべき目標のために、市民を集め、市民と共に行う事業です。この事業は市民がサービスの受益者だけではなく、提供者にもなり得るもので、あらゆるヒト・モノ・場所を繋ぎ、暮らしの質を高めます。

(取組イメージ)



α拠点の役割 (①マッチング②情報発信③市民活躍の場)

- ・資源バンクの構築・管理(人的資源の情報可視化)
- ・α拠点のPR、情報発信
- ・β拠点の認定・登録・管理
- ・β拠点間の交流、情報共有の促進
- ・β拠点の開設支援、β拠点活動のPR
- ・市民活躍の場(イベントなどの開催)
- ・運営資金の確保

β拠点の役割 (個性や得意な分野を活かした活動)

- ・資源バンクへの登録
- ・β拠点同士の連携した活動
- ・α拠点への情報提供

	0年目(R3)	1年目(R4)	2年目(R5)	3年目(R6)	4年目以降
(1) α拠点の設置・運用	α拠点整備・活用計画の作成	整備・場づくり	計画の検証・見直し 試験運用	本格運用	自走
(2) β拠点の認定制度の設計・運用	β拠点認定制度の設計	仮認定	試験運用	本格運用	自走
(3) 地域資源バンクの構築	資源調査	制度設計 アプリ制作	試験運用	本格運用	自走
(4) YTMワーキング	任意・不定期開催	定期開催WG(市主催)	不定期開催WG(市主催)	任意開催(YTM主催)	
		○α拠点整備・活用計画の検討 ○β拠点・地域資源バンク制度設計の検討	○α拠点の試験運用状況の確認・評価検証 ○β拠点・地域資源バンク制度の評価・検証	○α拠点の試験運用状況の確認・評価検証 ○β拠点・地域資源バンク制度の評価・検証	